外国語活動学習指導案

指導者 府中市立府中明郷小学校 教諭 長谷川 奈保美
府中市立府中明郷中学校 教諭 猪 崎 正 広
府中市教育委員会 A L T Emily Agatha Wing Mun Law

- 1 日 時 平成24年12月12日(水) 第2校時
- 2 場 所 小学校体育館
- 3 学 年 第6学年1組 (男子11名 女子13名 計24名)
- 4 単元名 Hi, friends! 2 Lesson 4 Turn right. 「府中市を案内しよう」

5 単元について

○単元観

小学校学習指導要領(平成20年)には、「外国語でのコミュニケーションを体験させるに当たり、主として次に示すようなコミュニケーションの場面やコミュニケーションの働きを取り上げるようにすること」として『道案内』を例に挙げてある。

本単元では、方向や動きを指示する表現を使って相手に道案内をすることが主な活動である。尋ねる側と案内する側との間に情報のギャップがあり、「尋ねる」「案内する」という活動にコミュニケーションの必然性が生まれ、児童にとって目的意識をもって活動できる単元である。

また、児童が使える外国語を駆使しながら相手に道案内をする体験をすることにより、自分の案内が相手に通じた、相手の説明が分かったというコミュニケーションの楽しさを味わうことができると考える。

道案内をする中で、方向を表す表現に加え、児童の生活に密着した場所や建物の名前についても体験的に学習をする。「コンビニ」や「デパート」等、児童にとって日常生活で馴染みのある建物を扱うことで、英語と日本語の発音や表現の違いにも気付かせることができると考える。

本単元での表現と主な語彙は次の通りである。

表現 Where is the school? Go straight. Turn right/left. Stop. Excuse me. Sorry.
語彙 建物 (park , flower , shop , hospital , bookstore , restaurant , supermarket , fire station
police station , convenience store , department store , post office , station)

○児童観

本学級の児童は、学級担任と中学校外国語科教諭、ALTとともに外国語活動の時間に、チャンツやゲーム等を通して外国語に慣れ親しんでいる。これまで児童は、お互いの誕生日やできること等をインタビューし合うなど友だちと外国語でのやり取りを楽しんで行ってきた。修学旅行では、観光に訪れている外国の方にインタビューをすることで、実際に外国の方とコミュニケーションを図ることの楽しさや難しさを感じることができた。

6月に行った外国語活動に関するアンケートの結果は次の通りである。

	質 問	よく あてはまる	あてはまる	あまり あてはまらない	あてはまらない
1	外国語活動の時間は楽しいですか。	28	17	1	0
2	それはなぜですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい英語が覚えられるから。 ・先生や友だちと英語で話せるから。 ・歌やゲーム、劇が楽しいから。 			

		<ul style="list-style-type: none"> ・英語が分かるようになるのが楽しい。 ・ALTと話せるから。 			
3	外国語活動の時間に、友だちの良さに気づきましたか。	45	2	0	0
4	それはどんなことですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・よく伝わるようにゆっくり話してくれた。 ・はっきり話していた。 ・進んで話していた。 ・目を見て話を聞いてくれた。 ・言い方が難しかったとき、一緒に言ってくれた。 ・積極的にチャレンジしていた。 ・よく英語を覚えていた。 			
5	先生や友だちの話を進んで聞こうとしましたか。	29	18	0	0
6	先生や友だちに進んで話そうとしましたか。	14	28	5	0

多くの児童が「外国語活動は楽しい」「友だちの良さに気づいた」と回答している。授業の終末に行う振り返りでも、「友だちがうなずいて聞いてくれたので安心して話すことができた。」等、友だちの姿や自分の頑張りを肯定的に評価することが多い。しかし、「進んで聞こうとしましたか」「進んで話そうとしましたか」という問いへの回答を比べると、聞くことには積極的に取り組もうとしているが、話すことには消極的な児童の姿がうかがえる。振り返りでも、「英語を覚えるのが難しい」等と英語表現を覚えられないことや間違えることへの不安を挙げる児童もいる。

○指導観

指導に当たっては、児童が、英語表現を覚えたり間違えたりすることへの不安をなくし、コミュニケーションを図ることの楽しさを実際に体験するために、次のような点に留意する。

- ・コミュニケーション活動の話題として、児童にとって身近な場所への道案内を取り上げる。「三郎の滝」や「下川辺駅」「オオムラサキの里」等地元の地名や施設は、児童にとって親しみがあり関心を持って活動に取り組めると考える。
- ・児童が自信を持って発話できるよう、言語材料は身近なものに設定する。また、表現が難しければ自由にALTやJTEに尋ねたり、ヒントとなる絵カードを提示したりしておく。また、単元を通して、繰り返しチャンツやゲームを取り入れて、自信を持って大きな声で発話できるようにする。活動の内容によってペアやグループ等、活動形態を工夫し、自信がない児童には、分担や協力をして活動できるように支援する。
- ・聞く・話す態度についてどのような聞き方・話し方がよいか児童に考えさせる。特に、聞き方については、うなずいたり相づちを打ったりしながら聞く姿が話し手を受け入れることになり、相手の尊重につながることを実感させる場面を設定する。
- ・児童の実態が把握できている学級担任、児童に異なった言語や文化を伝え教える役割のALT、その両方の役割を合わせ持つ中学校外国語科教諭という3人の指導者の役割を明確にし、それぞれの立場から児童を指導、支援していく。中でも、中学校外国語科教諭は、外国語活動と中学校の外国語科とつなぐ役割として、学習内容の系統性を児童に紹介したり、小学校と中学校の間に指導法の一貫性を持たせたりしていく。
- ・友だちとの関係を円滑にする働きを持つ簡単な英語表現や動作を児童に紹介する。相づちを打つ、お礼を言う、ほめる等の表現や動作を使う活動を設定し、児童が自然に活用できるようにする。これに

より、友だちとのかかわりが深まり、安心して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育成できると考える。

- ・支援の必要な児童への手だてとして、英語表現が難しかったら、何度でもALTやJTEに尋ねてよいことや、ヒントになるカードを見てよいことを伝える。

○学習内容の関連（単元の系統性）

外国語活動から外国語科への関連 [中学校教科書:NEW HORIZON English Course]は、次の通りである。

Hi, friends!1	Hi, friends!2	中学英語 1	中学英語 2	中学英語 3
	道案内をしよう Turn right. Where is the school? Go straight. Turn right/left. Stop. Excuse me. Sorry.	Unit 8 ナンシーに会いに Part1 どこにあるかを 尋ねよう Where is my pen? It is in the box. Speaking Plus 2 道案内 道順を尋ねる教える I'm looking for Midori Station.	Speaking Plus 3 道案内 乗物での行き方を尋ね る教える Which bus goes to City Hall? Take bus No. 3.	Speaking Plus 3 道案内 乗物での行き方を尋ね る教える Could you tell me how to get to Ueda?

6 単元の目標及び評価規準

(1) 単元の目標

- 積極的に道を尋ねたり、道案内をしたりしようとする。
- 目的地への行き方を尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。
- 英語と日本語とでは、建物の表現が違うことに気付く。

(2) 評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
・相手意識をもって目的地への 行き方を尋ねたり、分かりやす く案内したりしている。	・建物や目的地への言い方を尋ね たり言ったりしている。	・英語と日本語とでは、建物や 場所の表し方が違うことに気付 いている。

7 指導と評価の計画（全5時間）

次	学習内容（時数）	評 価					
		コ	價	気	評価規準	評価方法	他学年との関連 (同学年を含む)
一	町中にある様々な場所や 建物等の言い方を知る。 (1) ○What' s this? 【Let' s play】 おはじきゲーム ○Missing ゲーム			○	英語での建物等の 表し方の特徴や日 本語との違いに気 付いている。	行動観察・ 振り返りカ ード分析	中1 Unit4 楽しい冬休み What is this?

二	建物などの言い方や目的地への行き方を尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。(1) ○ビンゴゲーム 【Let' s chant】 Where is the station? ○サイモンセッズゲーム ○仲間探しゲーム				道案内の表現を聞いたり言おうとしたりしている。	行動観察・ 振り返りカード点検	中1 Unit8 ナンシーに会いに Where is my pen?
三	目的地への行き方を尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。(1) 【Let' s chant】 Where is the station? ○どこにあるのかな 【Activity】				目的地への行き方を尋ねたり言ったりしている。	行動観察・ 振り返りカード点検	中1 Speaking+ 2 道案内
四 (本時)	相手意識をもって目的地への道案内をする。(2) 【Let' s chant】 Where is the station? ○府中市を案内しよう				相手に分かりやすく目的地への道案内をしようとしている。	行動観察・ 振り返りカード点検	

(府中市小中一貫カリキュラムより)

8 本時の学習

(1) 本時の目標

相手に分かりやすく目的地への道案内をしようとしている。

(2) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項			評価規準 (評価方法)
	HRT	JTE	ALT	
1 ウォームアップを行う。				
1 挨拶をする。	・ 明るい声や笑顔で挨拶し、外国語活動に向かう気持ちを高めさせる。	・ 必要に応じて絵カード等を提示する。	・ 天気や月日、曜日等を尋ねる。	